

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 5 月 10 日 事業所名 児童デイサービス 福の木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0		ワンフロアであり 児童全体に目が届くように 配慮している。定員に対し十分なスペースがとれている。
	2	職員の配置数は適切である	8	1	曜日によっては職員を増員している。	常に寄り添うことが必要な児童が利用されている曜日にはスタッフを増員している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1	バリアフリー化しているが 用途の別がつきにくいので 床にテープをはりわかりやすくしている。	賃貸物件であるため リフォームは難しいが トイレの手すり設置を前向きに考えていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	気づきのノートを用意し 早急に検討したいことを記載している。	完全なPDCAサイクルは機能していないが 気づきのノートを使って PDCAサイクルに近いものとして朝のミーティングで職員の振り返り課題設定として使っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1	評価表での意向 連絡帳に書かれている意向を業務改善につなげている。	保護者様の意向に沿えるようにスタッフ間で話し合いを持ち改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1		会報を発行していないのでホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	事業所会に参加し他事業所での取り組みを参考にさせていただいている。	外部「評価を受ける準備はしていない。今後検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	年間計画に沿って内部研修を行い自己研鑽している。	オンラインでの研修を取り入れ、外部から講師を招いての研修を企画している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	面談や書面でのやり取りで児童の把握をしている。	スタッフ会議を開きスタッフの意見を聴いたうえで、その児童に応じた課題や方向性を決め放課後等児童デイサービス計画を作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	事業所独自の支援計画書の評価表で利用者様の状況を振り返っている。	個別支援計画書作成のためのストラテジシートの使用を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	ミーティングで月間の活動内容を会議している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	ミーティングで日々の様子から個々に適したプログラムを会議している。	個々に合わせた生活行動課題を取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	休日 長期休暇は 平日では行えない内容の活動を取り入れている。	コロナ禍であり 感染対策を徹底しながらできる範囲の活動をしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	個別支援計画書をもとに スタッフと話し合い計画書の作成に取り組んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	ミーティングの時間を使って確認している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	送迎からの帰所時間が異なるため気づきのノートに記載し翌日のミーティングで会議している。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	独自のケース記録表に記録している。	日々の活動の様子だけでなく長期目標・短期目標についての達成度や課題についても記載していく。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリング・評価・スタッフ会議を実施し見直しの必要性を検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0	職務に合わせたガイドライン・集団指導資料を回覧して目を通している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	電話での問い合わせがあったときには児発管が対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	学校お迎え時 担当の先生より様子についてお話を伺っている。	学校と情報共有できる場を希望しているが 難しい問題のようである。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	0		現在 医療的ケアが必要な該当児童はいない。対象児童が利用された場合には看護師を配置を検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	就学前に利用されていた関係機関と情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	障害福祉サービス事業所から 情報の要望がある時には 保護者様に了解を得たうえで情報を 提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	入職者には児童発達支援センターの研修を受講していただき 職員の資質向上のため 外部の研修にも参加している。	外部から講師を招き研修を定期的に行っていく予定にしている。保護者様にも声をかけ 受講していただく予定。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	地域の和太鼓の会に参加している。	児童クラブとの交流は検討していない。コロナ禍の 社会情勢が落ち着いた状況になれば 地域の子供会・自治会の方々と避難訓練・避難場所の確認を実施したいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	0	放課後等デイサービスに連絡協議会に参加している。	社会福祉協議会など 参加のお誘いがある時には参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	各児童の連絡帳・ご自宅送迎時 保護者様とお話し情報を共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	9	ペアレントトレーニングを受講された 保護者様から資料をいただいている。	現在 ペアレントトレーニングの研修を受講していないのでペアレントトレーニングの受講を 検討して行きたい。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時丁寧に説明させていただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	連絡帳・電話・送迎時にその都度対応させていただいています。相談できる雰囲気づくりを心がけています。個別支援計画書に家族支援として記載し 定期的に評価しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9	ミニ運動会開催後イベントを計画しておりましたが、コロナ禍の中で中止いたしました。社会情勢が落ち着きましたら再開したいと考えています。	保護者様との情報共有の為に交流会は必要と思われるのでコロナが落ち着いた時には 企画したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	苦情・相談窓口を設置しています。	行政機関への相談が必要と思われる場合には、窓口担当者から行政機関に相談を検討いたします。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	会報は発行してはおりませんが、日々の活動の様子をブログで情報を発信し活動に対して理解していただいています。	ブログ投稿を頻回にできるように努力してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	鍵のかかる書庫に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	接遇マナーの基本である身だしなみ・挨拶・不快にさせない表情・言葉使い・聞く姿勢を心がけ正確な情報の発信、丁寧な意思疎通を心がけている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9		セキュリティや安全の配慮から事業所への招待は行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	各種マニュアルを作成しており今回、コロナウイルス感染対策を追加した。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	職員の研修として防災避難訓練を実施しています。児童には、月に1回災害訓練の実施、机上での学習を行っています。	職員とご利用児童で、災害避難場所の確認を実施する予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	年間計画の虐待防止研修や虐待の報道があったときには朝のミーティングで主題にするなど虐待に対する意識を高めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	乗車時の安全確保の為チャイルドシートを使用している児童の利用がある。チャイルドシート利用の同意書を交わし安全に使用している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	契約時、調査書に食物アレルギーの記載をお願いしている。現在提供させていただいているおやつに対してアレルギー反応が見られるお子様は、いらつしやらない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ヒヤリハット事例集を作成している。年度初めには振り返り、同じ事業を繰り返さないために事業所全体で安全への意識を高めている。		